

令和5年度 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表 ①

公表：令和 6年 2月 22日  
事業所名：スタートアップ

(対象職員 5名)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・適切に運営されている。 ・体を動かして遊ぶことも出来ているため広さも十分にあると思う。 ・フィットネスや音楽療法等、体を動かして表現する活動にも取り組める広いスペースがとってある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・基準を上回る配置により、適切な数である。 ・基準を満たしている。 ・児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員など適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・バリアフリー対応を要する利用者がおらず、現状の利用者に対しては適切な状態である。 ・該当する方が利用になれば検討していく。 ・スロープや車椅子の方が利用できる広い障害者トイレは設置していない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・時間確保が難しい長期休暇期間中を除き、毎日の申し送りや協議には全職員が参加している。上記期間中も必要に応じ、情報は全職員に共有している。 ・保護者との申し送りや個別支援会議等で協議しながら行っている。 ・朝礼の時など職員同士で利用者との関わり等話す機会を意識的にやっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年欠かさず評価表を活用している他、保護者参加企画を実施した際にも別途アンケートをとっている。 ・送迎時の保護者との申し送り等で意向の把握に努め、業務改善に繋げている。 ・改善できないことも少しでも改善に近づくよう話し合いを行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・公開し、公開後は保護者にも周知している。 ・HPに掲載し、閲覧できるようにしている。 ・会報は作成していない。 ・令和1年度分から自社HPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・外部評価は取り入れていない分、内部での相互点検の状況について随時確認を行っているが、第三者による外部評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・内部研修を計画的に行っている他、外部での研修機会についても確保・推奨されている。 ・二か月に一回のペースで事業所内でも研修を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・本人・保護者からアセスメントを実施し、その内容を踏まえた計画書の作成を行っている。 ・定期的にモニタリングを実施して、保護者との面談を行っている。 ・個別支援会議で全職員で話し合い、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・事業所として標準化されたツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・活動内容を職員に周知し、取り組んでいる。 ・全職員で立案している。 ・気づいたことがあれば振り返りを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・プログラム立案者を日によって変更し、必要に応じて職員間で協議も行う等工夫している。 ・工夫は出来ていると思う。同じ活動であってもやり方や目標を変更しながら行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・サービス提供ができる実質的な時間（放課後か休業日）に応じ、個々の課題を取り入れて設定している。 ・平日・長期休暇の時間に応じて活動内容を変えたりと対応して支援している。 ・季節や目的に沿ったプログラムを設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・利用者個別の課題を踏まえながら、個別や集団のどちらにも偏りすぎない立案を行っている。 ・低学年、高学年、交流日とに分け、個別活動・集団活動を組み合わせた取り組みを行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・長期休暇中を除いて、毎朝には前日の支援の振り返りを全職員参加のもとで行っている。その際に当日以降の支援のあり方や役割分担について話す。 ・支援の内容についての確認を行っている。 ・活動プログラムの確認、役割の確認、ねらい等朝礼時や業務中に気づいたら全職で共有し、意見交換している。

令和5年度 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表 ②

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・ 翌日の申し送りの場で職員間で振り返りや情報共有を行っている。 ・ 緊急性がある場合はその都度、共有・連携を行っている。 ・ 1人1人の様子は次の日の朝礼時に振り返りを行いつつ、記録にも残している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・ 職員の申し送り後に行っている。記録内容は職員間で確認し合って支援の改善に繋げている。 ・ 支援記録は欠席時の対応も含めて欠かさず行っている。また、職員間で記録のチェックも行っており、気になる点は話し合いも行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・ 定められた実施制度の他、必要に応じて保護者へ事業所から面談の実施も提案している。随時、見直しと検討しながら取り組んでいる。 ・ その他、必要な場合において保護者の方と連携し、相談や検討の場を設けている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・ 個別及び集団での活動、創作活動、余暇の提供については日々組み合わせたプログラムを立案している。地域交流については模索しながら行っている状況である。 ・ 可能な限り利用者の滞在時間に合わせ、検討と実施を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・ 職員の在籍年数や経験は考慮して選定は行っているが、基本的にはどの職員が参加しても同様の効果が得られるような方針で進めている。 ・ 日頃から職員間で共有・連携し、担当者会議に参加できる体制を整えている。 ・ サービス担当者会議の前に利用者の様子を共有しているため、誰が参加しても様子を伝えられるようにしている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・ 下校時刻の確認については基本的には利用者及び保護者への確認のご協力をお願いすることとしている。その他の連携については学校へ積極的に依頼を行うようにしている。 ・ 主に送迎時、支援クラスの先生と情報共有を行っている。下校時刻の確認は学年通信をコピーさせてもらっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・ 現状では対象となる利用者がいないため、体制は構築していない。対象者が発生次第、整えていく予定である。 ・ 医療的ケアが必要な方はいないが、受け入れる場合は連絡体制を整える準備は出来ている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・ 現状で連携した実績はない。保護者と事前に行うアセスメントで情報量の充分さは感じている。 ・ 相談支援専門員との情報共有を常にしており、アセスメントにて把握している。 ・ 必要時には関係機関と情報提供・相互理解を図る体制を整えることができる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・ 現状では対象となる利用者がいないため連携の実績はない。対象者が発生次第行っていく予定である。 ・ 必要時には関係機関と情報提供・相互理解を図る体制を整えることができる。 ・ 今後対象者が出ると思われるため、その際は情報を提供する。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・ スーパーバイザーの派遣等を受けた実績はないが研修への参加は行っている。 ・ 専門機関と連携し、助言や研修の機会があれば受けたいと思っている。 ・ 今年度はZOOMではなく対面での研修を受けることが出来ている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			・ 児童クラブ等との交流については実績がないが、外出先の公共施設で交流が生まれることはある。 ・ 公園等外出時に地域の児童と関わることもある。地域の児童が集団活動等に参加する場合には相手の校区等の情報を確認している。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・ 参加できていないが、機会があれば参加したいと思っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・ 面談機会の他、送迎時の申し送りや個別に連絡を取り合うことにより、共通理解を図れるよう努めている。 ・ 保護者の方が参加する担当者会議にも、情報共有に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ 送迎時の申し送りの際に直接保護者と会話することができるので保護者の様子も知ることができる。保護者の悩み等を聞くことが出来たら一緒によりよい支援に繋げていくことができると考える。 ・ ペアレントトレーニングまではできていないが保護者交流会で子供への視点の見直しだったり悩みの共有などで対応力向上を図っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・ 基本的には事業所の特徴も含め、見学や契約の際にお伝えすることになっている。見学時はパンフレット、契約時には契約書や重要事項説明書を通して説明を行っている。 ・ その他重要なお知らせについては書面を添えて説明を行う等、ご理解が得られやすい形でのお伝えの仕方を心掛けている。

令和5年度 事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表 ③

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・相談の内容によって面談を提案・実施するなど支援に努めている。また事業所の方からも積極的にヒアリングを行っている。 ・保護者との信頼関係を築き、気軽に相談できる環境を作っていきたい。 ・保護者の方からお話があった際にはその場で答えず一旦持ち帰り職員間での情報共有や協議を通して対応を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・父母の会などの設定は行っていないが、年二回の保護者参加レクリエーションを開催し、保護者間の交流や連携の機会を設けている。 ・今年度は11月に保護者参加型レクリエーションを実施した。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・対応マニュアルを整備し、職員間では研修の機会を通して手順等を定期的に確認し合っている。マニュアルに基づいた対応を行っている。 ・苦情があった際には職員間で協議し、再発防止についても協議している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・主に長期休暇中は活動等の様子を写真に撮り、保護者へデータで共有している。 ・定期的に会報は発行していない。 ・長期休暇の活動予定は事前に伝えている。重要なお知らせについても書面と説明を保護者に行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			・肖像権に絡む部分を含めて保護者に説明を行った上で同意書を交わし、適切に取り扱っている。 ・個人情報の取り扱いに関する内部研修を通して使用目的等の理解を深め、同意書を通して保護者の方とも確認を行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・混乱を招くようなことがないように必要に応じてルールを設定して統一化・明確化してから行うようにしている。 ・利用者に応じた対応について職員と事前に協議し、保護者の意向も伺いながら伝えるよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・行事に招待することはしていないが、こちらから民間施設や民生委員、育成クラブ等へ主体的に働きかけ、事業所情報の発信を行うようにしている。 ・長期休暇時に地域のお店等を利用する際、事業所の説明や協力依頼を行っている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・各マニュアルは整備し、職員には研修機会を通じて、保護者には各対応時や別途活動後にマニュアルの存在について周知している。 ・送迎時の申し送りで保護者に訓練内容等の報告を行っている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・長期休暇において火災・地震・津波を想定した訓練を利用者と一緒に行っており、防災ヘルメット装着練習や避難場所までの防災散歩も実施している。 ・年に3回実施し、訓練の様子については送迎時に保護者の方へお伝えしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・所内研修の実施計画において必須項目となっており、欠席者が出た場合には別途伝達講習を行っている。外部研修の機会も活用している。 ・年1回は内部研修のスケジュールに入っており、新人職員の入社後は全職員で読み合わせを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・身体拘束を行う際の要件や手順については方針を元に所内研修の必須項目としても取り扱っている。今のところ実施が想定される利用者がいないため計画書へ記載している対象者がいない。 ・社内研修やマニュアルに基づき、適切な対応を行えるよう職員間で協議しながら進めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・現在、食物アレルギーのある対象者がいない。今後受け入れる場合は医師の指示書に基づき対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット報告書を作成し、今後の改善策など職員間で協議し、再発防止に努めている。